

おすすめ健康チェック項目ミニガイド

1. ステデューブッシュ点検

エンジンの揺れを押さえる為のブッシュで、揺れているまま乗っているとミッションに悪影響を及ぼしますよ。揺れたら交換です。

2. ロア、テンションブッシュ点検

直進性などを出す為の足回りのブッシュで、テンションブッシュは直進性にもっとも重要なブッシュ。ロアアームブッシュはガタガタ道を走行するときにもっとも威力を発揮するブッシュで、これがヘタっているとカタカタ異音がするミニになりますよ。

3. ステアリングラック、アウター、インナーブーツ点検

各部ブーツの中にグリスがいっぱい詰まっている事でスムーズな走行が出来るのですが、ブーツが破れてグリスがなくなってしまうと異音の原因となりひどい場合は部品の交換になってしまいます。

4. 外部的ハブベアリングのガタつき、タイトロッドエンドのガタ点検

ハブのガタつきや異音は要チェックです。足回りはらきりきりやカリカリと異音は出始めたら要注意。早期発見は安く済む秘訣です。タイロッドエンドがヘタってくると、走行時にハンドルがブレるなどの悪影響が出てきます。

5. フロントディスクブレーキパッド点検、洗浄

フロントのブレーキパッドが減ったまま足っているとキーキー異音が出るだけでなく、ローターを傷つけて部品交換になるかもしれないので要チェックです。

6. リアブレーキ液漏れ点検、ブレーキ調整、ブレーキ点検

リアブレーキはミニの場合、車検時にリペアキットを交換して0/0するのですがそれを怠るとブレーキオイルが漏れ出し最悪ブレーキが効かなくなってしまうので、要チェックです。

7. タイヤ空気圧、及び、規定トルクによるナット増す締め

タイヤは重要チェックポイントです。空気圧は季節によって変わるので半年に1回は点検して下さい。燃費は悪くなったり変磨耗してしまいますよ。タイヤのローテーションや交換時は、ミニにあった締付けトルクでナットを締めましょう。国産と違ってミニのボルトは弱いので締付け過ぎないようにね。

8. タイヤ前後ローテーション

上記7の説明と同様。

9. ファンベルト、及び、クーラーベルト点検、鳴き止め

ファンベルトが緩んでいないのにキュルキュルと音が出始めたらベルトの交換をした方が良いでしょう。97年以降のファンベルトは96年以前と比べてヘタリが早いので要チェック。

10. グリスアップ（前後8箇所）

グリスアップはミニのタイヤが上下に動く時に必ず働く関節のような箇所にグリスを差す事を言います。前輪部分6か所、後輪部分5か所の計8か所にグリスアップポイントがあり、寒くなる前や暑くなる前の年2回グリスアップをしましょう。怠ると異音の原因になりますよ。

11. バッテリー比重測定、及び、充電

バッテリーはトランク内にある為あまり点検する機会がないのでメンテナンスフリーが楽ですよ。キャブミニの場合は4~5年、インジェクションミニの場合は3~4年が交換の目安で期間を過ぎたバッテリーは要注意です。出かける時にスターとしようと思ったらアレって事にならないようにね。

12. クーラント比重測定、及び、液量点検

1000ccの頃はリザーバタンクが無かったのでいつもクーラント液が減って補充しなければいけなかったけど、1300ccからはその必要も無くなりましたよね。ただ、ラジエーターの中身が水だけだったらラジエーターの中が錆だらけになりオーバーヒートの原因にもなるので注意しましょう。

13. オイル漏れ点検、液量点検

ミニのオイル漏れはまず原因を追究しましょう。国産車と違ってゴムのオイルパッキンをいっぱい使っているのもオイル漏れをする原因の一つだったり、根本的に入っているオイルが原因だったりするので、オイル関係には気をつけましょう。

14. プラグ、ディスビ等点検

プラグ、ディスビ、ローター類は実はとっても重要箇所で、エンジンがかかりにくい原因の一番なんです。特に、97年以降はプラグの消耗が激しいので早めの交換が必要ですよ。